

「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き」に係る 地域説明会の開催結果について

令和3年6月に、平塚市自治会連絡協議会定例役員会にて、「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き（概要版）」について、今後地区ごとに説明会を開催することを周知しました。

昨年度、市内2地区（城島地区、岡崎地区）の自治会長を対象に説明会を開催し、今年度は市内4地区（金目地区、豊田地区、金田地区、旭地区（旭北・旭南））にて開催しましたので報告します。

1 説明概要

- ・手引きについて、既存公共交通の利用促進など概要を説明
- ・身近な交通の課題や困りごとについて、手引きを参考にしながら、地域での話し合いを通じて、市交通政策課に相談いただきたい。



「公共交通の利用促進と地域内交通の整備に関する手引き（概要版）」

2 各地区からの主な意見

＜令和4年度＞ ※令和5年3月中に土沢地区への説明会を実施予定。

(1) 旭南地区（令和5年2月）

- ・公共交通を利用させたいのなら、割引券を配ったりしたらどうか。若者は通勤等で使うとしても、年寄りにはバスに乗ってまで出かけたりしない。
- ・（地域によるコミュニティ交通の運営について）自治会も2、3年で役員が交代していくから、責任を持ってない。

(2) 旭北地区（令和5年1月）

- ・旭北と旭南で結ぶバス路線がないため、地域間を行き来できない。
- ・歩道のないバス停で、高齢者がしゃがみ込んでバスを待つ姿を見たことがある。バス停沿いの壁を削るなどして屋根と椅子付きのバス停を作れないのか。
- ・バス利用が便利すぎる地区とそうでない地区がある。バスロケーションシステムなどはすごく便利で、バスで事足りてしまうので、自分は自家用車をほとんど使っていない。
- ・朝夕が多くて、昼間時間帯が少ないケースが多い。30分に1本など、平均して本数があれば使いやすと思う。

(3) 金田地区（令和4年9月）

- ・バス停の近くに自転車置き場を作ってもらっているが、まだまだ放置自転車もあるようだ。
- ・金田公民館まで来ているバス路線は、病院を利用する人にとっては本数が少ない。花菜ガーデンの西側に住んでいる人にとっては、バス停が遠くて、東橋バス停まで徒歩10分くらいかかる人もいると思う。

(4) 豊田地区（令和4年7月）

- ・バス停まで遠いという声はある。病院などへ行きたいという声はあった。
- ・バス停に屋根がないのはかわいそうだ。雨の日にずぶ濡れになってバスを待っている人がいる。
- ・豊田本郷と国道129号の東西間を行き来する時に困る。バスが通っていないから、市民病院に通うことになった場合、足に困ってしまう。
- ・免許返納した方向けにタクシー券補助を実施したらどうか。

(5) 金目地区（令和4年6月）

- ・100～200m程歩けばバス停はあるが、市役所や病院へダイレクトに向かう経路が無いので、新規に路線運行してほしい。
- ・東海大学の掲示門前を経由して平塚駅に向かうバス路線ができたが、途中バス停を増やしたりという考えはないか。いくつか途中バス停が増えれば、利用者も増えるのではないか。

<令和3年度>

(1) 岡崎地区（令和3年11月）

- ・コミュニティバスや乗合タクシーは、利用人数が確保できないため、導入は難しいと感じている。
- ・地区内のバス路線は充実している方だと認識している。高齢者等のバス停までの移動が課題。
- ・矢崎バス停まで出ないと平塚駅行バスに乗車できないことや伊勢原市の東海大学医学部付属病院や伊勢原協同病院へ直行するバスがないことに不便を感じる。

(2) 城島地区（令和3年10月）

- ・市民病院へ行くために、平塚駅でバスを乗り継ぐ必要があり、不便を感じる。（派生的にシャトルバスの利用実績等について質問あり）
- ・小田急線伊勢原駅を利用する住民が多い。現在、1時間に1本程度の便数であり、バスの本数が増えないと利用者も増えないと思う。
- ・免許返納したいと考えてはいるが、バス料金が高いため躊躇してしまう。

3 今後の予定

令和5年度は、神田地区、大野地区、平塚地区、海岸地区に対して実施

以上